

# 川崎市立麻生中学校

## 学校紹介

本校は、学校教育目標の「自主自律」のもと、今年度創立30周年を迎えます。食育に関しては、学校生活のさまざまな活動の中で、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付けることをめざしています。

## 給食委員会

給食委員会では、廊下のホワイトボードに給食の栄養成分表を毎日貼っています。その日の給食に使われている材料や、その材料が体内でどのような役割を果たしているのか一目でわかるよう、食材マグネットを利用しています。みんなが通る廊下に貼ることで、一人一人がバランスよく栄養を摂取する意識づけを心がけています。



また、給食委員の掲示板には、3回の食事の大切さを中心に食生活に関する給食ニュースを掲示しています。給食委員が自分たちの生活習慣を振り返りながら生活に生かせる内容の記事を選び、選んだ理由を添えて注目させています。偏った食事や食事のマナーを通してもう一度自分の食事を見直すよう呼びかけています。

## トマト栽培

特別支援級では、本年度、カゴメの食育事業「りりこわくわくプログラム」に参加しています。カゴメが独自に開発した凜々子という品種のトマト48株を栽培、収穫しました。鳥などに食べられてしまったり、雨で傷んでしまったりしましたが、600個近くのトマトが採れました。家庭に持ち帰り、調理したトマトは、もぎたて以上の美味しさがあったと盛り上がりました。



## 食に関する授業

毎年2年生は食に関する授業を行っています。昨年度は「毎日の食事がからだや心の健康に深くかかわっていることを意識し、食への関心を高める。給食のできるまでを知り、作り手への感謝をもっていただく気持ちをもつ。」をねらいとし、内容は、保健委員会による「食に関するクイズ」や川崎市北部給食センターの栄養教諭による「成長期と食生活」の食育講話でした。

生徒たちは「今が大事な時期であるということが改めて分かった」「自分の将来のために正しい食生活を心掛けたい」と、感想をもちました。